

日野市、市職員向け社内研修に コミックを活用した e-Learning 『コミックラーニング』 を選定 ～コンプライアンス順守の重要性をコミックで分かりやすく！～

総合人材サービス、パーソルグループのパーソルイノベーション株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：長井 利仁）は、日野市の市職員向け社内研修のツールとして、e-Learningにコミック教材を活用する研修ツール『コミックラーニング』が採用されたことをお知らせします。



■ 『コミックラーニング』 採用理由について 日野市企画経営課 主査 笹原 健人様より

市として内部統制を推進している目的・意義を、より効率的、効果的に全職員に理解し、職員意識の醸成を図るにはどうしたら良いかを考え、いきついたのが、コミックという手法でした。日常業務をこなしながら、講義や動画研修を受けることは、拘束時間も長く、職員の負担ともなり、いつでも、どこでも、隙間時間にも読むことができ、好きな時に、見返せる点においても、魅力を感じ導入を決定しました。内部統制という一見難しいテーマを、実際の職員に近いキャラクター、初めて学ぶ方にも伝わりやすい内容で、教材のストーリーに共感しやすいという部分も導入の決め手となりました。

■ 導入内容

導入コンテンツ名：「内部統制」
対象：日野市職員（約1,000名）
利用方法：受託制作プラン

■ 教材内容 ※一部抜粋



■『コミックラーニング』とは < <https://lp.comiclearning.jp/top> >

2021年8月に提供を開始した『コミックラーニング』は、インターネットを利用した学習方法であるe-Learningにコミック教材を活用することで、誰もが学びたくなる研修に変えていく研修ツールです。導入を決定した企業さまからは、「クリエイティブ面のクオリティ、内製ではできない斬新なストーリーが決め手となった」、「参加率が上がることを期待している」、「従業員のコンプラ意識向上が顧客満足度向上にもなると期待している」等、ご期待の声を多くいただいております。



■パーソルの新規事業創出プログラム、「Drit」から誕生したサービス

『コミックラーニング』は、パーソルの新規事業創出プログラム『イノベーション体質強化プログラム「Drit（ドリット）」』（<https://www.drit-i.jp/>）にて採択され事業化されたサービスです。



ー「Drit」とは

「Drit」は、パーソルイノベーションの新規事業創出プログラムで、社員自らが起案し、実際に事業化させることができるプログラムです。

○第4期、守屋 実氏がアドバイザーとして就任

<https://persol-innovation.co.jp/news/2022/0303-3/>

■パーソルイノベーション株式会社について < <https://persol-innovation.co.jp/> >

パーソルイノベーション株式会社は、パーソルグループの次世代の柱となる事業創造を目的として、2019年4月に事業を開始しました。日本最大級のオープンイノベーションプラットフォーム『AUBA（アウバ）』、シフト管理サービス『Sync Up（シンク アップ）』をはじめとした新サービスを運営するとともに、新たな事業開発やオープンイノベーション、デジタルトランスフォーメーションを推進、パーソルグループのイノベーションを加速していきます。

パーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人と組織にかかわる多様な事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。